

福岡県公民館大会



中間体育文化センター

第**28**回

目 次

第 28 回 福岡県公民館大会に寄せて	2
大会役員一覧	3
第 28 回 福岡県公民館大会開催要項	4
昭和 55 年度公民館優良役職員表彰一覧	6
昭和 55 年度優良公民館表彰一覧	14
資料編	25
(1) 第 3 回全国公民館研究集会開催要項	
(2) 社会教育に放送利用学習を広げるために	
(3) 昭和 54 年度建設公民館施設概要一覧	
(4) 県内公立公民館における AV 機器・教材の保有状況	

第28回 福岡県公民館大会に寄せて



福岡県公民館連合会会長 樋 水 速 太

本日、ここに、県内各地から関係者多数のご参加を得て、このように盛大に第28回大会を開催することができましたことを、会長といたしまして心からうれしく思いますとともに、関係各位のご熱意に

対して厚くお礼を申し上げる次第であります。

さて、近年の急激な都市化現象に伴う地域社会の変容は、人間疎外や地域連帯性の喪失を助長するにとどまらず、公害や自然破壊などによる生活権の侵害と相まって、憂慮すべき社会問題を惹き起していることはご承知のとおりであります。と同時に、望ましい生活基盤を確立するため、あらためて地域社会と住民福祉について考えようとする気運が盛り上って来ているのも事実であります。

このような状況の中で、生活文化の振興、社会福祉の増進に寄与する公民館は、今後、地域住民の實際生活に即した教育・文化に関する各種の事業を行う教育機関として、また新しいコミュニティ形成の拠点として、多様化する地域住民の生活課題解決のための学習要求に的確に対応して行かなければならないことは今更申し上げるまでもありません。

本大会では、「地域住民の實際生活に即した公民館の在り方について」をテーマに、具体的な問題提起を基にした研究討議を行い、その成果を本年10月福岡県で開催される「第3回全国公民館研究集会」に結集して、これからの公民館活動への飛躍を期するものであります。みなさまの積極的な研究参加をお願いいたします。

最後に、本大会の開催を心よくお引受けいただき、終始熱心にご協力いただきました中間市並びに遠賀郡の関係者の方がたに衷心よりお礼を申し上げまして巻頭のごあいさつといたします。

大会役員一覧

役員名	所属・職名	氏名	役員名	所属・職名	氏名
名誉会長	福岡県教育委員会 教育長	友野 隆	大会実行 委員	芦屋町教育委員会 社会教育課長	松野 博人
大会会長	福岡県公民館連合 会会長	鐘水 速太	"	芦屋町教育委員会 社会教育係長	吉浦 勇
大会副会長	福岡県公民館連合 会副会長	坂田 亀次郎	"	水巻町教育委員会 社会教育主事	増永 竜之
"	福岡県公民館連合 会副会長	岡崎 隆三	"	水巻町教育委員会 社会教育係	西尾 啓三
"	中間市教育委員会 教育長	小曾我 清太郎	"	福岡県教育庁遠賀出 張所社会教育係長	田中 博士
大会実行 委員長	中間市教育委員会 社会教育課長	古賀 光男	"	福岡県教育庁遠賀出 張所社会教育係	川添 弘人
大会実行 副委員長	岡垣町教育委員会 社会教育課長	長畑 武	事務局	事務局 局長	高木 康生
大会実行 委員	中間市教育委員会 社会教育課長	古賀 光男	"	事務局 参事	二村 能史
"	中間市中央公民館 館長	岩崎 曠喜	"	"	末武 良三
"	中間市中央公民館 副館長	四宮 武徳	"	"	平 聖峰
"	遠賀町教育委員会 社会教育課長	井口 一美	"	"	小野 敏弘
"	遠賀町教育委員会 社会教育係長	半田 憲彰	"	"	森本 精造
"	岡垣町教育委員会 社会教育課長	長畑 武	"	事務局 職員	細野 三津子
"	岡垣町教育委員会 社会教育係長	柴崎 国雄			

第28回 福岡県公民館大会開催要項

— 第3回全国公民館研究集会を成功させよう —

1. 趣 旨

地域における生涯教育の中心的施設として、公民館の果たす役割はきわめて大きなものがある。

近年の社会構造の変化に対応して、多様化する地域住民の学習要求や地域課題に応える公民館の在り方は、新たな視点からの見直しの時期にきていると思われる。

本大会では、80年代における公民館の在り方について討議を深め、その成果を10月に福岡県で実施する第3回全国公民館研究集会へとつなぎ、今後の公民館の振興・発展を図る。

2. 大会テーマ

「地域住民の実際生活に即した公民館の在り方について」

3. 主 催

福岡県公民館連合会、福岡県教育委員会、中間市教育委員会、遠賀郡社会教育振興会

4. 後 援

福岡県、福岡県市長会、福岡県町村会、福岡県市町村教育委員会連絡協議会、福岡県社会教育委員連絡協議会、福岡県視聴覚教育協会、福岡県青少年問題協議会、福岡県父母教師会連絡協議会、福岡県郡市婦人会連絡協議会、福岡県青年団協議会、福岡県子ども会連合会、福岡県貯蓄推進委員会、福岡県明るい選挙推進協議会

5. 期 日

昭和55年6月12日(木)

6. 会 場

中間体育文化センター (中間市下蓮花寺 TEL. 093-26-2800)

7. 参 加 者 約 1,000名

公民館利用者、自治(町内)公民館等関係者、社会教育委員、公民館運営審議会委員、地方行政関係者、公民館職員

8. 日 程

- 9:30 ~ 10:30 受 付
- 10:30 ~ 11:10 大 会 式 典
開会のことば
福岡県公民館連合会副会長 坂 田 亀次郎
主催者あいさつ
福岡県公民館連合会会長 鐘 水 速 太
福岡県教育委員会教育長 友 野 隆
来賓祝辞
福岡県知事 亀 井 光
中間市長 添 田 八尾亀
表彰式
日程説明
- 11:10 ~ 12:40 記 念 講 演
「住民の自主活動と公民館」
講師 香蘭女子短期大学副学長 岩 井 龍 也
九州大学名誉教授
- 12:40 ~ 13:30 昼 食
- 13:30 ~ 15:40 パネル討議
テーマ 「地域住民の実際生活に即した公民館の在り方について」
パネラー 近藤博昭（三潴町公民館主事）
福田種家（中間市公民館連絡協議会会長）
井上康博（福岡県青年団協議会会長）
三隅佳子（北九州市社会教育指導員）
助言者 相羽 堯（西日本新聞編集委員）
柳 治男（熊本大学助教授）
司会者 岡崎隆三（福岡県公民館連合会副会長）
- 15:40 ~ 15:50 閉 会 行 事
次期開催地（京築地区）代表あいさつ
閉会のことば
福岡県公民館連合会副会長 岡崎隆三

昭和 55 年度 公民館

種別	番号	市郡名	氏名 (生年月日)	所属	役職名	在職期間
公立 公民館	1	北九州市	やす かわ じょう せい 安川 浄生 (大 14. 4. 30)	北九州市八幡東区 八幡東中央公民館	館長	自 26. 4. 1 至 54. 12. 31 (29年)
	2	福岡市	なか むら けんのおすけ 中村 憲之助 (明 32. 8. 11)	福岡市南区 老司公民館	館長	自 45. 4. 5 至 現在 (10年)
	3		よこ た みゆき 横田 幸 (明 41. 12. 27)	福岡市西区 北崎公民館	館長	自 45. 4. 1 至 現在 (10年)
民 館	4	大牟田市	あら き いずみ 荒木 泉 (明 45. 2. 11)	大牟田市 中央公民館	運営審議会 委員	自 48. 10. 1 至 現在 (7年)
	5	飯塚市	みなみ がわ いずみ 南川 泉 (明 38. 8. 15)	飯塚市 鎮西公民館	運営審議会 委員	自 42. 4. 1 至 現在 (13年)
	6	田川市	なかすが よし お 中須賀 由夫 (明 41. 1. 24)	田川市 中央公民館	運営審議会 委員	自 35. 4 至 54. 3 (20年)

優良役職員表彰一覧

表彰の内容	
業績	理由
<ol style="list-style-type: none"> 1. 中学生の会育成に努力 2. 小学校区単位の公民館建設に努力 3. 婦人創作展、企業内青年学級の振興に寄与 4. 前戸畑中央公民館でミセススクール、市民大学講座開設 	<p>約29年間にわたり、公民館主事、社会教育主事、公民館長として公民館活動の振興に努力しその業績は顕著である。</p>
<ol style="list-style-type: none"> 1. 公民館建設に努力し実現を図る 2. 団体の組織化と育成に尽力 3. 青年学級をはじめ青年教育に尽力 4. 地域に根ざした公民館経営の発展を図る 	<p>公民館長として、地域における社会教育に専念し、特に公民館設置に伴う施設建設と、公民館事業として青年学級の企画運営に創意をこらし、その推進を図るなど、地域における社会教育の振興に大きな役割を果たした。</p>
<ol style="list-style-type: none"> 1. 社会体育を通して地域連帯感を高める 2. 青少年の健全育成と後継者づくりに努力 3. 老人クラブの育成 4. 離島（小呂島）振興を図る巡回講座の実施 	<p>公民館長就任以来、地域住民のかかえている生活課題住民要求を引きだし、地域の連帯意識の向上を図る。また、へき地教育や、同和教育の組織的取り組みは、明るい地域づくりとして、その功績は大である。</p>
<ol style="list-style-type: none"> 1. 公民館事業の諮問に応じ、住民要望にもとづく事業の推進に努力 2. 地区公民館建設構想を推進し、その実現を図った 	<p>積極的に公民館事業に取り組み、社会教育、公民館事業に深い認識と理解があり、連続して審議会委員として活動し実績をあげている。</p>
<ol style="list-style-type: none"> 1. 校区住民の教育に貢献 2. 社会体育の振興に尽力 3. 青少年健全育成に尽力 4. 社会福祉の増進に寄与 	<p>13年間にわたり、地域住民の教育文化の向上、社会福祉の充実につとめ、地区公民館の発展に寄与した功績は大である。また、老朽公民館の建替えには豊かな指導力をもって献身的にその実現に努力した。</p>
<ol style="list-style-type: none"> 1. 住民福祉の向上に献身的な努力 2. 中央公民館の建設に努力、その実現を図った 3. 同和教育の啓発活動に尽力 	<p>20年間に及ぶ公民館運営審議会委員を務め、そのすぐれた識見をもって常に建設的意見を提言し、委員としての責務を果たすとともに、中央公民館事業へ側面的に尽力その功績は極めて大である。</p>

種別	番号	市郡名	氏名 (生年月日)	所属	役職名	在職期間
公立 公民館	7	柳川市	つみ さなみ 堤 瑳奈美 (大 12. 3. 7)	柳川市 両開公民館	主事補	自 42. 9. 至 現在 (13年)
	8	甘木市	みず き すえこ 水 城 寿恵子 (大 6. 5. 13)	甘木市 安川公民館	運営審議会 委員	自 43. 4. 1 至 55. 3. 31 (12年)
	9	大川市	ひろ まつ きいちろう 広 松 基一郎 (大 10. 5. 18)	大川市 三又公民館	館長	自 45. 1. 17 至 55. 3. 31 (10年)
	10	筑紫野市	おお いし いさむ 大 石 勇 (大 1. 10. 16)	筑紫野市 筑紫公民館	主事	自 44. 4. 至 現在 (11年)
	11	宗像郡 福岡町	もう り たか た 毛 利 隆 太 (明 38. 11. 5)	福岡町公民館	館長	自 45. 4. 1 至 現在 (10年)
	12	遠賀郡 遠賀町	いの ぐち かず み 井 口 一 美 (昭 8. 8. 21)	遠賀町中央公民館	公民館主事	自 37. 10. 1 至 現在 (17年)
	13	浮羽郡 浮羽町	い しい ただし 石 井 正 (昭 5. 1. 21)	浮羽町 大石公民館	館長	自 42. 中鶴区 至 47. 公民館 自 47. 4. 1 至 現在 (13年)

表 彰 の 内 容	
業 績	理 由
1. 婦人学級の学習内容指導及び学級生拡充に努力 2. 婦人の教養向上発展に努力 3. 青少年の健全育成のため青少年育成会を結成	12年余主事補として勤務。誠実、勤勉に務め、特に婦人学級の向上、青少年の健全育成などに努力。その実績は他の範とするものである。
1. 地域ぐるみの健康、福祉運動の推進 2. 公民館講座に婦人、若妻層を対象とした学習機会づくりに尽力	地域の婦人をはじめ、住民の信望があつく、企画性、行動力、指導力を兼ね備えており、公民館を支える立場で多年その振興発展に努力してきた功績は高く評価される。
1. 公民館経営の刷新 2. 学級講座の推進 3. 町内公民館の整備促進 4. 体育スポーツの振興	常に斬新な企画と事業により公民館活動の普及と振興に尽力し、地域社会の教育文化の向上に多大の実績を示した。特に体育、レクリエーションを通しての住民相互の親睦融和と連帯を図った実績は市内公民館の先進的役割を果たした。
1. 新旧住民の融和を図りコミュニティーづくりに尽力 2. 広報活動の継続的实践 3. 青少年教育の促進 4. 各種事業の推進	町内公民館長時代、転入者が旧来住民を越える事情の中で、公民館活動を通して新旧住民の融和に努めた。また、広報活動を通して、公民館を中心とした地域づくりに効果をあげている。
1. 広報活動を通して新旧住民のコミュニティーづくりに貢献 2. 高齢者教育の振興発展に尽力 3. 類似公民館活動の充実・発展を図る	公民館報「ふくま」の編集発行は顕著であり、人口急増加にある福間町の新旧住民のコミュニティーづくりに大きく貢献した。福間町の社会教育の中心的存在であり、その功績は大である。
1. 公民館講座、学級等の学習活動の活発化 2. 社会体育の推進	誠実で、信望厚く、常に物事に対し積極的に取り組み公民館運営並びに社会体育における功績は多大である。
1. 地区老人会連合会の組織化とゲートボールの普及 2. 大石公民館建設 3. 青少年健全育成事業の推進 4. 成人教育の振興	公民館建設をはじめ老人会の組織化による交流の場の設定、父母の夜間学習会等実績をあげている。また、社会体育における活動の推進は著しく功績をあげ、大石地区の公民館活動に尽力した。

種別	番号	市郡名	氏名 (生年月日)	所属	役職名	在職期間
自治 （町 内） 公 民 館	14	北九州市	おおがみふみかず 大神文和 (明45. 1. 18)	北九州市門司区 古城公民館	館長	自 31. 4. 1 至 現在 (24年)
	15		なかのえんじろう 中野圓二郎 (大 6. 3. 2)	北九州市若松区 第24区公民館	館長	自 42. 4. 至 現在 (18年)
	16		すえますともすけ 末益友之助 (明44. 4. 16)	北九州市八幡西区 黒崎第11区民館	館長	自 47. 12. 10 至 55. 3. 31 (8年)
	17	久留米市	あおきもとまさ 青木元正 (明42. 8. 1)	久留米市 上津校区公民館	公民館主事	自 44. 7. 1 至 55. 3. 31 (11年)
	18	直方市	くろだひろし 黒田博志 (大12. 3. 28)	直方市 下境校区公民館	公民館主事	自 41. 4. 至 現在 (14年)
	19	八女市	わたなべたねお 渡辺種雄 (明42. 1. 11)	八女市 祈禱院町内公民館	館長	自 47. 4. 1 至 現在 (8年)
20	中間市	かとうひでお 加藤英夫 (大 5. 3. 3)	中間市 扇ヶ浦二区公民館	館長	自 39. 4. 1 至 現在 (16年)	

表 彰 の 内 容	
業 績	理 由
<ol style="list-style-type: none"> 1. 社会福祉や青少年教育、老人福祉に尽力 2. 婦人会を中心とした講話、料理教室の開催 3. 各種団体との連絡を密にした事業の推進 	<p>地域住民の信望を集め、特に青少年問題に取り組み青少年の健全育成に努めた功績は多大である。</p>
<ol style="list-style-type: none"> 1. 公民館施設の充実に努力 2. 地域連帯性の強調と公民館機能の飛躍的発展に努める。 3. 北九州市公民館運営審議会委員としても積極的に活躍中 	<p>社会教育及び社会福祉関係団体の役職者として、豊富な知識と経験を生かし、特に社会教育の発展に貢献することは大である。</p>
<ol style="list-style-type: none"> 1. 区民館（自治公民館）の創設に貢献 2. 新旧住民の連帯意識の育成に尽力 3. 子ども会の育成、婦人クラブ活動の奨励、老人福祉の増進に努力 	<p>公民館創設に貢献し、今日までの基礎づくりをした。円満な人格、卓越した指導力により公民館活動、自治会活動の要として、地域の社会教育、文化、福祉活動に多大の尽力をした。</p>
<ol style="list-style-type: none"> 1. 青少年健全育成を公民館事業の重点事項として位置づけ、各地域ごとの懇談会の実施 2. 市内校区公民館主事会長として尽力 3. 同和教育の普及徹底にあたる 	<p>コミュニティづくりや青少年の健全育成に正面から取り組み、きめ細かな活動を展開し、校区住民の信頼も大きく、また、全市的には27公民館の要の役割を果たし校区公民館発展に尽した功績は大きい。</p>
<ol style="list-style-type: none"> 1. 地区公民館の運営組織の強化に努力 2. 青少年の健全育成の積極的推進 3. 社会体育の推進に努力 	<p>社会教育に対する卓越した情熱と指導力があり、公民館における子ども会等少年諸活動の組織化と育成に努め、地域における公民館活動の実践に尽力した功績は大である。</p>
<ol style="list-style-type: none"> 1. 町内公民館の建設に尽力 2. 市教委からモデル公民館の委嘱をうけ実績をあげている 3. 町民運動場を設置 4. 町内公民館だよりの発行 	<p>町内公民館長として積極的に事業に取り組み、特に青年団、婦人会、子ども会、老人会等の関係団体と連携をとりながら、町内住民の融和と文化向上に努めてきた業績は多大なものがある。</p>
<ol style="list-style-type: none"> 1. 子ども会の育成 2. 婦人部、老人部の学習活動の活発化 3. 公民館施設取得のための募金活動の先頭に立って活躍 4. 地域連帯性の確立に尽力 	<p>長期にわたり、地域住民の社会教育の指導的立場に立って積極的に町づくりのために尽力している。また、施設取得にも努力した。温厚篤実な人格はその行動とともに全住民の支持を得ており、その業績は大である。</p>

種別	番号	市郡名	氏名 (生年月日)	所属	役職名	在職期間
自治 (町内) 公民館	21	三 瀨 郡 城 島 町	なか むら たか ゆき 中 村 孝 行 (大 14. 12. 28)	城 島 町 江 島 公 民 館	館 長	自 42. 3 至 54. 3 (13 年)
	22	八 女 郡 星 野 村	いし ばし まこと 石 橋 誠 (明 44. 9. 6)	星 野 村 公 民 館 第 1 区 分 館	分 館 長	自 45. 4. 1 至 現 在 (10 年)
	23	田 川 郡 赤 池 町	はやし みち はる 林 道 治 (昭 13. 2. 10)	赤 池 町 第 18 支 所 地 区 公 民 館	館 長	自 50. 4. 1 至 現 在 (5 年)

表彰の内容	
業績	理由
1. 江島公民館の新築に多大な尽力 2. 子ども会の育成、スポーツ少年団の組織化 3. 新生活運動の啓蒙充実 4. 各種団体の育成	永年、地区公民館長として、あらゆる困難を克服し、責任を果たした。また4年間は町公民館副館長としても活躍し、館長会の運営・活動に新風を吹きこむなど、すばらしい業績を残した。
1. 生活改善運動に尽力 2. 分館長会の会長としての重責を果たす 3. 公民館の維持管理に尽力	10年にわたり分館長を努め、村内の各分館長のよき相談役であり、指導者としての信頼も厚い。 地域分館活動としてスポーツ活動等の推進に努力しており、活動も活発であり功績は大である。
1. 地区公民館活動の育成指導に尽力 2. 機関紙の発行によるコミュニティーづくりの推進 3. 地区公民館の組織整備と自主活動の奨励	炭鉱閉山とともに崩壊した地区活動を機関紙活動と体育活動で復興、また、町内地区公民館の統合、組織化にも積極的に取り組み、連合会づくりへ発展させる原動力となった功績は大である。

昭和 55 年度 優良 公民

種別	番号	市郡名	公民館名	所在地	館長名	施設	
						敷地面積	建物延面積
公立 公民館	1	福岡市	春住公民館	福岡市博多区博多駅 南3丁目11-30	久保代次郎	m ² 467	m ² 278
	2		日佐公民館	福岡市南区 横手3丁目147-1	幸田秀麿	895	582
自治 (町内) 公民館	3	北九州市	大里柳自治公民館	北九州市門司区 柳町2丁目9-1	和才春見	251	284
	4		若松区 第二区公民館	北九州市若松区 浜町1丁目18-33	高嶋義友	530	409
	5	大牟田市	田町公民館	大牟田市大字 歴木190	帖地国男	235	134
	6	久留米市	南薫校区公民館	久留米市通外町58	稲益勲	373	187

館 表 彰 一 覧

状 況		設 備 の 状 況	表 彰 の 理 由
構 造	建築年月日		
木 造 平 屋	S. 37. 3	複 写 機 輪 転 機 スクリーン、卓球台 ワイヤレス、映写機	年々複雑化の度を加えていく地域の中で、子どもを健全に育成するための教育環境の整備を中心に、少年及び成人を対象とした体育・レクリエーション活動や、婦人の学習活動を促進し、地域住民相互の連帯感の醸成に力を注いでいる。
木造モルタル 2 階 建	S. 28. 10	映写機、輪転機 複写機、卓球台 スライド映写機 テープレコーダー	農村地域の公民館活動として強力に推進しながら都市化に伴う活動内容へ脱皮を図っている。特に高齢者、婦人を対象とした取り組みは住民の連帯意識の向上に効果をあげている。また、46年から始めた読書活動は着実な歩みをつづけている。
軽量鉄骨 2 階 建	S. 40. 11	和 室 事 務 室 管理人室 炊 事 場	社会教育、福祉、文化、体育を通じ、校区住民の親睦を図るとともに、重点事業として青少年の健全育成、防火、防犯に精力的な活動が続けている。また、広報紙の発行を行い、住民のコミュニケーションの徹底を図っている。
木造モルタル 2 階 建	S. 38. 11	冷暖房器具一式 放送設備 事務機械 消化設備一式	当館は住宅地の中にあって、生活環境の改善、住民の連帯と協力態勢の高揚、教養文化の向上等を図り、各世代間の意志を反映したスムーズな運営がなされ、施設面をおおいに利用した公民館活動に積極的な取り組みがなされている。
木 造	(増改築) S. 54. 1	ホ ー ル 料 理 室 和 室 放 送 室	環境美化活動、伝承文化の継承とふるさとづくり、青少年の健全育成等を永年取り組み、町内住民のふれあいを高める内容ある活動を展開している。
木 造 平 屋	S. 33. 8	大ホール 会議室、調理室 和 室 クーラー、テレビ 謄写ファックス	一般的な諸学習活動の中でも、特に幼児教育の振興を図り、VTRを利用した学習の導入とか、子ども会、婦人会、PTA、老人会等の各種団体間の事業を通しての連携活動を促進し、事業を通してコミュニティーづくりをすすめるため、問題意識をもった住民の育成に力を入れている。

種別	番号	市郡名	公民館名	所在地	館長名	施設	
						敷地面積	建物延面積
自治 (町内) 公民館	7	田川市	川端町公民館	田川市東区川端町	原 正 水	m ² 330	m ² 205
	8	八女市	今福町内公民館	八女市大字今福	松 延 司	1,339	163
	9	大川市	大角町内公民館	大川市大字大野島 2753-21	福 岡 寿	220	106
	10	中間市	岩瀬西町 一区公民館	中間市大字岩瀬 字前田 984	後 藤 辰 五 郎	600	180
	11	筑紫野市	若葉・中原公民館	筑紫野市大字石崎 字中原 42-1	田 中 義 男	734	155
	12	大野城市	牛頸公民館	大野城市大字牛頸 1357-5	森 山 鉄 男	1,000	500
	13	宗像郡 福岡町	畦町区公民館	宗像郡福岡町 大字畦町 382	桜 井 清 重	774	269

状 況		設備の状況	表彰の理由
構 造	建築年月日		
木 造 平 屋	S. 41. 7	小会議室6 中会議室1 炊事室	本地域には、商社・工場等の建設が急増し、都市化が急速に深まっている。この傾向を憂慮し、住民コミュニティ建設運動が高まり、各活動部では講座を増加し、これらを通じての住民相互のふれあいによる住民コミュニティづくりが活発である。
木 造 平 屋	S. 53. 12	調理台一式 長机、黒板 演 台	老人クラブ、婦人会、子ども会の活動が特に盛んである。体育面では町内グラウンドをつくり照明施設を設置して、青年、婦人等の勤労者の便を図っている。地域住民は公民館事業に積極的であり、新館落成以後は特に活発になった。
木 造 平 屋	S. 38. 4	調理設備一式 テント 座 卓	校区で最も大きい規模の町内公民館で、役員の積極的な指導力と地区住民の進取的な事業活動への参加が活発である。老人会、婦人会、子ども会等の連携もうまくとれており、また、生活環境浄化活動も実効をあげている。
木 造 平 屋	S. 52. 11	調理用具一式 放送設備 リコピー、卓球台 ゲートボール	スポーツ活動に重点をおき、ゲートボールを全住民に普及し地区住民の連帯と健康の増進を図っている。現在子ども会、老人クラブ、婦人部等の対抗試合を行っている。また盆おどりは全戸出場である。子どもたちの健全育成も町内ぐるみで行い、その実をあげている。
木 造 平 屋	S. 48. 10	姿 見 鏡 4 黒 板 3 卓 球 台 ミ シ ン 暖 房 器	子ども会活動や読書活動を中心として、公民館活動が活発に行われている。また、地区住民の健康増進と生活環境の改善向上の活動も盛んである。新しいふるさとづくりのために全地域的行事が工夫され効果をあげている。
鉄 筋 2 階 建	(改 築) S. 53. 3	館内、館外放送設備 調理実習室 ホール、和室、学習室 図書室、複写機	都市化や環境の変化が激しいという地域性の中にあって住民の融和協調、住民の健康づくり、環境づくりを中心とした積極的な活動がなされており、特に食生活改善をめざした「みどり学級」と「地域文庫活動」については実績をあげている。
木 造 平 家	S. 51. 12	図 書 室 会 議 室 集 会 室 調 理 室	文化面での活動に特に重点が置かれているが、青少年の健全育成についても活発な活動が展開されている。 教室等の開設と生活文化展、毎月の地域環境美化活動など、住民の自主的な活動が行われている。

種別	番号	市郡名	公民館名	所在地	館長名	施設	
						敷地面積	建物延面積
自治 (町内) 公民館	14	八女郡 上陽町	久木原公民館	八女郡上陽町久木原	山口力男	m ² 300	m ² 110
	15	田川郡 添田町	彦四地区公民館	田川郡添田町 大字落合 1306 の9	藤田政明	312	146
	16	田川郡 大任町	上今任地区公民館	田川郡大任町上今任	高木誠一	250	127

状 況		設 備 の 状 況	表 彰 の 理 由
構 造	建築年月日		
木 造 2 階 建	S. 34. 3	会 議 室 研 修 室 調 理 室	公民館を中心に地域住民の和と親睦を図ることを公民館活動のスローガンとして、地域住民が一体となって講演会、大会、サークル活動等に参加し、各年代層の活動と地域住民の教養、体力づくり、青少年の健全育成に努力している。
木 造 平 屋	S. 43. 4	調 理 室 図 書 室 和 室 剣道用具 7 組	地区住民相互の融和と親睦をはかり、地域連帯意識の向上と住みよい地域づくりをめざし、住民が一体となって事業の実施と活動の推進を行っている。特に青少年の健全育成に重点目標をおき、この活動を強力に推進している。
木 造	S. 24. 8	調 理 室 調理用具一式 和 室 放送設備	各種団体の連携を密にし、文化、郷土史、婦人学級などの各講座、教室の開設、また、地区内美化運動の推進などにも実績をあげている。とくに婦人、老人クラブ等のグループ活動は活発化しており、町内公民館のモデル的存在である。

— 記念講演 —

「住民の自主活動と公民館」

香蘭女子短期大学副学長
九州大学名誉教授 岩井龍也

— 記念講演・MEMO —

— パネル討議 —

テーマ 「地域住民の実際生活に即した公民館の在り方について」

パネラー

近 藤 博 昭（三 漕 町 公 民 館 主 事）

福 田 種 家（中 間 市 公 民 館 連 絡 協 議 会 会 長）

井 上 康 博（福 岡 県 青 年 団 協 議 会 会 長）

三 隅 佳 子（北 九 州 市 社 会 教 育 指 導 員）

助 言 者

相 羽 堯（西 日 本 新 聞 編 集 委 員）

柳 治 男（熊 本 大 学 助 教 授）

司 会 者

岡 崎 隆 三（福 岡 県 公 民 館 連 合 会 副 会 長）

— パネル討議・MEMO —

— MEMO —

資 料 編

1. 第3回全国公民館研究集会開催要項
2. 社会教育に放送利用学習を広げるために
3. 昭和54年度建設公民館施設概要紹介
4. 県内公立公民館における AV 機器・教材の保有状況

第3回 全国公民館研究集会開催要項

主 催

社団法人 全国公民館連合会
九州公民館連合会
福岡県公民館連合会
福岡県教育委員会
福岡市教育委員会
北九州市教育委員会

福岡県地方教育委員会教育長会
福岡市
北九州市
日本放送協会

協 賛

福岡県市長会・福岡県町村会
福岡県社会教育委員連絡協議会
福岡県子ども会連合会・福岡県青年団協議会
福岡県郡市婦人会連絡協議会
福岡県視聴覚教育協会
福岡県父母教師会連絡協議会

後 援

文 部 省
公民館振興市町村長連盟
福岡県
福岡県市町村教育委員会連絡協議会

1. 趣 旨

社会教育の中心センターとして生涯教育を推進する公民館が、行財政上また事業運営上、当面する幾多の諸問題を専門的立場から研究討議し、公民館の適切な管理経営のための指標を探求するとともに、効果的かつ普遍的事業活動の展開方策を考究し、80年代における公民館の振興発展に資するため、この研究集会を開催する。

2. 会 期

昭和55年10月22日(水)23日(木)2日間

3. 会 場

福岡市民会館<主会場>

福岡市中央区天神5～1～23

電話(092)761-6567

4. 参加者

公民館長、主事、職員および運営審議会委員
もしくは、教育委員会事務局社会教育関係職員、
社会教育委員

5. 日 程

第1日 10月22日(水)

8:30～9:30 受付

9:30～10:00 分科会ごとに開会

10:00～12:00 分科会討議

12:00～13:00 休憩(昼食)

13:00～17:00 分科会討議

17:00～ 宿舎へ移動

第2日 10月23日(木)

9:30～10:00 公研集会セレモニー

10:00～12:30 全体会討議

<前半> 行財政問題

(パネルディスカッション)

<後半> 事業活動課題

(シンポジウム)

12:30～13:30 休憩(昼食)

郷土芸能紹介

13:30～14:50 記念講演

講師交渉中

14:50～15:00 閉会式

6. 分 科 会

部会	分 科 会	参 加 者	討 議 内 容
行 財 政 部 会	1 公民館連合体組織の強化と活動のあり方を考える	都道府県公連、都市公連の役職員	個々の公民館が活発化するため、連合体はどのようなべきか。 その組織、事業、活動、運営の実態から、これからのあり方を考えてみる。
	2 都市における公民館の管理、経営の問題点とその解決方策	館 長	対象区域、施設、設備、職員配置、サービス、経費および管理方法（開、閉館、休館日、休業日、補償制度等）について
	3 町村における 同 上	館 長	同 上
	4 都市における 同 上	主 事	同 上
	5 町村における 同 上	主 事	同 上
	6 町内公民館（自治館・類似館など）における 同 上	関 係 者	同 上
	7 運営審議会委員の役割、使命と活動のあり方	運営審議会委員	運営審議会の会議、諮問、答申および調査活動等の実態から、これからのあり方を考える。
事 業 活 動 部 会	8 家庭教育の問題点とすすめ方	とく （予 め 申 し 込 ん だ 分 科 会 へ 出 席 下 さ い。 ）	幼児教育、少年教育、青年教育および家庭教育のあり方、問題点を探り、教育効果を高めるためのすすめ方について考える。
	9 成人教育の問題点とすすめ方		婦人教育、成人教育、高齢者教育の各部門における問題点を探り、教育効果を高めるためのすすめ方について考える。
	10 コミュニティー活動の問題点とすすめ方		地域社会づくり活動を展開する上における今日的諸問題を探り、教育効果を高めるためのすすめ方について考える。
	11 視聴覚教育の問題点とすすめ方		放送教育を含む視聴覚教育全般にわたり、そのあり方問題点を探り、教育効果を高めるためのすすめ方について考える。
	12 文化活動の問題点とすすめ方		ふるさと運動や、読書活動を含む文化活動の全分野における問題点を探り、教育効果を高めるためのすすめ方について考える。
	13 体育、レクリエーション活動の問題点とすすめ方		体力づくり、スポーツ、野外活動を含む体育、レクリエーションの推進にあたり、その問題点を探り、教育効果を高めるためのすすめ方について考える。
	14 同和教育の問題点とすすめ方		同和教育を推進するための問題点を探り、教育効果を高めるためのすすめ方について考える。
全体会	<前半> 行財政部会の討議を中心とした公民館の振興方策 — パネルディスカッション — <後半> 事業活動部会の討議を中心とした公民館の振興方策 — シンポジウム —		

7. 分科会での基調発表者

- (1) 各分科会で3名の基調発表者をたてる。
- (2) 3名の基調発表者は、「東北北海道、関東甲信越静岡」ブロック1名、「東海北陸、近畿、中四国」ブロック1名、「九州」ブロック1名とする。
- (3) 基調発表者の選考は全公連が各ブロックと協議して決める。
- (4) 基調発表者は自己の研究、実践体験と併せてブロックでの討議の要点も要旨に組入れる。
- (5) 発表の時間は1人15分以内とする。
- (6) 発表者は所属公民館、職氏名及び発表の要旨を本文400字詰原稿用紙5枚以内にまとめ、全公連事務局宛8月20日までに届ける。
- (7) 全公連は各分科会ごとに発表要旨を集録し、現地事務局が「集会資料」として印刷する。

8. 参加申し込みと参加費

- (1) 参加費（資料代を含む）は1人につき3,000円とする。
- (2) 参加希望者は別記様式「申込書」に参加費を添え、所属の県公連事務局へ8月20日までに申し込むこと。
- (3) 県公連はこれをまとめて、「総括表」を付し、参加費を添えて（現金書留）8月31日までに現地事務局へ申し込む。（責任者を明記のこと）
- (4) 現地事務局は9月中に、「領収証」「参加証」を一括県公連へ送る。
- (5) 申し込みの取り消し、変更は9月30日まで（現地事務局必着）とし、以後の取消者の参加費は返還しない。その場合終了後「公研集會記録」は出席者の分とともに県公連宛一括送付する。

<注意>

- ① 申し込み期限以降および当日参加受付は原則としてしない。
- ② 当日「受付」において参加証と引き換え

に「公研集會資料」を配布する。

- ③ 参加証に記入の分科会場以外の会場では原則として資料は受け取ることはできない。

9. 昼食の予約

- (1) 第1日、第2日とも昼食（弁当）は予約制とし、1食分500円とする。なお、当日引き換ええない場合も予約代金は返還しない。
- (2) 予約希望者は参加申し込みの際に代金を添え記入申し込みのこと。現地事務局は昼食申し込み者には参加証と同時に「昼食引換券」を送付する。
- (3) 第1日の昼食は申し込んだ分科会場で、第2日は全体会場で現物と引換える。

10. 宿 泊

- (1) 1泊6,500円（朝夕2食付、税、サービス料とも）とし、あっせんおよび申し込みは近畿日本ツーリストが行う。
- (2) 宿泊あるいは視察旅行のあっせん希望者は「近畿日本ツーリスト」発行の案内により直接申し込むこと。
現地事務局ではあっせんしない。

11. 駐 車 場

各分科会とも駐車場はありませんので、自家用車での参加はご遠慮下さい。

12. 現地事務所

〒810 福岡市中央区西中州6-29

福岡県教育庁指導第二部
社会教育課内

第3回全国公民館研究集會

現地事務局

電話（092）771-1161（代表）

内線 67、68、69

（092）771-5779（直通）

社会教育に放送利用学習を広げるために

(福公連委嘱事業「北九州市社会教育放送利用研究グループ」研究活動レポートより抜粋)

1. 研究グループの発足と目的

社会教育における視聴覚メディアをどのように利用、活用するかという問題は、今日のようないろんな情報化時代にとって大変重要なことであり、その役割は大きいものとなっている。

社会教育においても視聴覚器材は、学習活動にかなり普及されてはいるが、しかし、学習活動の中で教材又は、素材として十分活用されているとはいえない。

その中で、放送利用学習は、新しい分野ではあるが、放送の持つ教育的特性を有効に生かすことによって新しい学習形態が考えられると思う。

とりわけ、テレビは「いつでも、どこへでも」届けられ、他の視聴覚メディアに比べ、最新性と速報性の情報が臨場感を与え、特に日常生活に親近性をもつ学習メディアであり、個人学習と集合学習の組合せは、社会教育におけるあらたな学習活動の組織化が考えられると思う。

われわれ、社会教育に携わる者は、いたずらにテレビ公害論やテレビ回避論にとらわれるのではなく、積極的にテレビの持つ教育的特性と長所を社会教育活動にどう生かしていくか、住民の日常生活における学習活動に対する放送利用の普及・啓もう、その活用方法の研究開発・改善につとめていくのが今日の焦眉の課題であろう。

そこで、「北九州市の社会教育における放送

利用の普及と活用」を考える有志が、自発的・自主的に集まって、この研究グループが発足した。

2. 昭和54年度研究テーマ

「社会教育にテレビをどう生かすか」

— テレビの持つ教育的特性の活用(普及と研究) —

3. 研究事業内容(事業計画)

(1) 会員相互の研修

ア、放送利用学習事例研究

各公民館等で学習を担当している会員が当番館として、その学習内容、学習展開を会員相互で研究討議する。

「放送教材・素材」の選択の適否、利用の方法、効果測定、助言者等。

イ、放送番組の作品研究

送り手側(放送局)の放送番組の中から特定の番組を選んで、教材・素材としての適否、活用効果等の研究討議、送り手側へのフィードバック。

ウ、補助教材研究

放送利用学習のための関係図書、文献、雑誌等を補助教材として相互研修。

(2) 放送利用学級の相互訪問研修ならびに研究大会等への参加

市内外の放送利用学級を訪問し、学習への参加、交換研修。

放送利用を重点的に視聴覚教育関係の研究大会等に積極的に参加。

(3) 講師・助言者等名簿作成

社会教育の学習活動の中で、放送を教材又は素材として活用、助言を行える講師・助言者名簿を作成し、放送利用学習をすすめる関係者のための参考資料とする。

(4) 各公民館等の所有の教材・素材テープの目録作成。(現在所有テープ約400本)

各公民館等で所有利用しているテープの資料分析を行い、学習対象者別に誰れもが手軽に利用しやすいように、内容から活用方法等を考えた総合目録を作成し、学習効果の向上の資料とする。

(5) 教材情報の収集と会員相互の情報交換

(6) その他

広報活動

1. 会報の発行
2. 行政、放送局などとの連携

例会

1. 定例研究会の開催
2. 特別例会の開催

北九州市社会教育放送利用研究グループ

— 昭和54年度の歩み —

- 54.4.14 ○ 作品研究「子どもの非行を心配する母親の悩み」奥さん相談室(RKB)
- 昭和54年度事業計画案について討議。
- 54.5.12 ○ 昭和54年度事業計画案を審議決定。
- 北九州市放送利用リーダー研修講

座に対して協力体勢をつくることについて討議(北九州市立視聴覚センター主催行事)

○ 北九州市内社会教育施設及び関連施設に保有の放送ビデオテープの総合目録作成について。

54.6.9 ○ 作品研究「おれたちにも明日はある～ある高校中退者の場合」(NHK)

○ 資料研究「家庭におけるテレビ視聴に関する実態調査」(穴生公民館)

54.7.14 ○ 作品研究「いま子どもは何を求めているか」(NHK)

○ 特別例会 遠賀郡芦屋町にて情報交換。

54.8.11 ○ 作品研究「父親の重さ」(親の目、子の目 - RKB)

54.9.10 ○ 学習事例研究「枝光婦人学級、加工食品の品質表示」(おくさんごいっしょに - NHK)

○ 県公連委嘱の研究テーマについて討議。

54.10.3 ○ 作品研究「水戸黄門」(RKB)

54.11.2 ~ 11.3 ○ 朝倉郡杷木町公民館婦人学級を訪問研修「年金について学ぶ」に参加。

54.12.8 ○ 暮らしに生かす放送利用全国大会(京都)参加報告。

○ 民教協全国大会(静岡)参加報告

○ 九州地区社会教育放送利用研究大会(沖縄)参加報告。

各報告に対しての研修。

- 54.12.22 ○昭和54年度の活動について反省・評価（特別例会）
- 55.1.12 ○県社放研研究委嘱発表についての討議。
枝光公民館「中学生のお母さん勉強室」
- 北九州市の放送利用学習の実態調査について。
- 55.2.9 ○作品研究「生みの親って何一に」親の目、子の目（RKB）
広島市の社会教育学習グループのリーダー5名来館して合同研修会を開催、同グループと情報交換、懇談会開催。
- 55.3.15 ○作品研究「これからの家庭教育」
- 昭和55年度事業内容検討
- 民教協九州大会（沖繩）参加報告

4. 主な研究活動内容（事業報告）

(1) 放送利用学習事例研究

（事例研究A）

小倉北区白銀公民館 — 婦人学級における
ドラマ番組利用から —

利用番組 「女たちの忠臣蔵」

普通、放送利用学習といえば、どうしても教育番組の利用が多くなるが、今回は「女性の生き方を考える」というテーマで、橋田寿賀子作の「女たちの忠臣蔵」を各人、家庭視聴をして来て話し合いを持った。

忠臣蔵の仇討の蔭で泣いた元禄時代の女性の生き方をお互いに出し合い、次に戦時中の女性の生き方、そして、現代の女性の生き方を対比させながら学習をした。

家庭視聴について、ちょっと心配があったが、8割近くの人が視聴して来ていたので、話の盛り上がりがあり熱心な話し合いが出来た。

特に、話し合いの中で、忠臣蔵の蔭で泣いた女性の立場、心情についてどう思うかの問いに、9割近くの人が心情として理解出来るし、あの時代の女性たちは、現代の女性たちが考えるような女性蔑視や耐え難い苦痛とかは持たなかったのではなからうか、その時代において、そのことが当たり前だという感覚で受止められていたのではなからうか？又、戦時中の女性についての考え方、生き方にも意外に反論がなく、もし、今、戦争が起り夫や子どもが戦いに取られるような事が起きた場合、現在、女性としてどう考えるかの問いに、色々状況にもよるだろうが、多分送り出すだろうとの意見が多かったのには、予想外の驚きと共に、現代に生きている女性の生き方、考え方が以外と元禄時代、戦時中の女性と余り差がないことにどう理解してよいか迷ったものである。（なお、出席した婦人が50代、60歳の婦人が多かったことで、年代的では多少の変化が出るだろう。）

しかし、その学級の後でそのことについて或る人と語り合ったことだが、そのような現象については、以外と女性特有のものでなく、日本人自体外見は別にして、中味・内容については殆んど変わっていないのが真実ではなからうかということであった。

ドラマ番組利用については、高齢者学級でも「水戸黄門」を利用したが、この作品については、番組作品研究でも取上げたのでその中でふれてみたい。

ただ、ドラマ番組を利用する場合、型にはま

った形でないので学習目標、学習展開方法について教育番組に比べ特に事前研究しておく必要が大事ではないかと考える。

学習のすすめ方によっては、教育番組よりかえってドラマ番組を利用した方が、臨場感としては効果的と思われることもあり、又教育番組として制作されたものの方が利用しやすいともいえる。お互いに一長一短があり、活用面の研究については、番組すべてについて視聴し学習目標によって選択すべきである。

なお、ドラマは時間がながいので活用時間の研究が必要であると思われる。

(事例研究B)

小倉南区中央公民館婦人学級「Msの会」より

小倉南区中央公民館で、53年度に開設されたミセス・スクールが終了した後で受動的な、承り学習でない、自分たちのための自分たちによる学習を求めて集った人々による自主グループが「Msの会」である。

会員は、昭和54年度のテーマを文学や心理学の学習を通して、女性としての生きざまを学び「自分の生き方を考える」ことに決めた。補助金は全然なしの僅かな会費で運営する会としては、視聴覚メディアを多様にとり入れ、充実した、仲間同志何んでも話せる会、いきいきと学習し合える会づくりを目標に、文学担当グループ、心理学担当グループに分れ分担して企画から運営、記録すべて役割を持つようにした。

文学グループ提案で「Msの会読書会」を作り、中央図書館からテーマに合った本を借り(「高瀬舟」、「砧をうつ女」、「にごりえ」、「からゆきさん」)学習会を企画、心理学担当は、

理(16ミリ)、。児童期の心理(VTR使用「しつけを問い直す」)。思春期の心理(VTR「青春の遺書」、「何が子供を死に追いやるか」)について学習することにし、全体の計画を作成し同テーマで、2回又は3回連続学習も考えた。

例 1. ◦「砧をうつ女」を読み話し合う。

(2時間)

韓国の女性(帰化している)夫の大学教授(日本人)を招いて韓国の伝統、習慣、教育等質問し理解を深める。(2時間)

例 2. ◦「青春の遺書」を視聴し、意見の交換をする。(2時間)

◦少年相談センター、ヤングテレホンの妹塚さんに青少年の悩みの事例を聞く。質疑と統計、資料説明(2時間)

◦親として考えねばならぬことは何か、親の態度、子どもの心理、友達等について助言者を交え話し合う。(2時間)

7月から、市の委託婦人学級として、更に学習を続け、今後もみんなと同時に視聴し、楽しく、わかり易い放送利用学習を積極的に取り入れていきたいと思っている。

(2) 放送番組の作品研究

送り手側(放送局)放送番組の中から特定の番組を選んで学習の教材・素材としての適否又は利用活用について会員相互で討議を行った。

利用番組(A) 「生みの親って何一に」親の目・子の目

— 討議の柱として —

1. 単的にいって、この作品は学習に利用す

るのに適当か否か。

2. どんな学級、学習会に利用してみたいか。
3. 具体的にどんな学習課題に適切だと思
か。
4. 学習展開方法は、まとめはどのように。
5. 助言者の必要はあるか。

もし、必要とあればどんな助言者が適当
であるか。

— 研究討議の中から —

この作品は、ずばり利用できる。特に内容的
に変に同情的、おなみだ頂戴ではなく、素直な
表現でありながら視聴している者の心にぐんぐ
ん入り込んで行くものがある。

学習利用の範囲でも、家庭教育学級、婦人学
級をはじめ生涯学習の殆どどの範囲に利用出来
そうである。具体的なテーマとして考えてみれ
ば「子どもの幸せと親のあり方」「子どもの自
立心」「子どもにとって親とは何か」「親にと
って子どもとは何か」「親子の愛情とは」「子
どもの人権とは」「保母の活動と役割」「子
どもの非行化とその背景」など学習テーマも幅広
く考えられそうで、特に「生きるって？ どん
なことか」何か社会を生き抜いて行く自信と希望
を現実感を通じて与えてくれる思いをしたよう
だった。

学習展開については、話し合いが活発になり
そうで継続学習に発展の可能性大である。

助言者については、あえて必要はないと思わ
れるが、もし助言者をつけるとすれば、ネライ
をはっきりさせた上で助言者を選ぶべきだ。

例えば、この施設そのものについて考えると
すれば、作品に類似した施設の保母さんに地域
の施設の実態説明を受けながら作品と対比しな

から助言を受けることも一つの方法ではなから
うか。

とにかく、この作品についての会員の評価は、
かってない好評で、一般に利用しやすさの面で
「お母さんの勉強室」にややもすれば押されが
ちの「親の目、子の目」にホームランが出た感
じであった。

やはり、送り手側の制作意図が一人歩きでな
く、受け手の視聴者との間に何か一本連がるも
のの出来た時の作品は誰れがみても素晴らしいも
のになるのではなからうか。今後の作品に期待
している。

利用番組(B) 「水戸黄門」

— 討議の柱として —

1. 何んでこんなに人気があるのか。

最後は、同じ結果(印ろをかざして)
で終るのに、これだけ受けるのは一体何ん
だろう。

2. どんな学習に使えるか。
3. 学習展開はどんなに考えるか。

— 研究討議の中から —

○ 白銀公民館で、高齢者学級に利用するそうだ
が、会員としてどう考えるか？

A 会員 ○ どんな学習に使うのか迷う。
○ これを見てどうするのか。

B 会員 ○ 現代との関係について。
○ 感想の出し合いだけでは意味がな
い。

C 会員 ○ 孫に教える水戸黄門。
○ 家族とのふれ合いの中の水戸黄門。
○ 歴史講座に。

D 会員 ○ 現代の汚しょくとの対比(内容が
代官の汚しょくだ)。

。力のない庶民生活と行政のしくみ。

他に色々と意見が出たが、教育番組に比べ又、時代劇ということもあってか、的がしぼりにくいようであった。

番組の人気については、勧善懲悪の見本みたいであり、いつの時代においても、自分に出来ないこと、心理的な願望を解消してくれるスーパーマンの出現を待っているのではなかろうか。

学習利用展開についての討議は、時間不足で十分な討議が出来なかったが、テレビの表面だけで終わってしまわないよう利用の仕方に工夫が必要だが、白銀公民館での利用についての質問があった。

白銀公民館での利用・ねらい

- 。水戸黄門の人間について（人気の理由も含めて）
- 。徳川御三家について
- 。その時代背景について（行政しくみ）（武士の生活、庶民の生活）
- 。水戸黄門の必要性、その他

先述したように、ドラマ番組の利用については、学習に利用する場合、教育番組、教養番組のように或る程度、学習者を意識しての番組構成に比較し、学習展開が難しい面があるようで今後の研究課題であろう。

(3) 補助教材研究

研究会の中で、下記の図書を購入し会員相互で研究討議を実施。

「社会教育における放送利用学習」

本家正文著

「テレビで学ぶ」放送利用社会教育研究会

(4) 放送利用学級の訪問ならびに研究大会への参加

。朝倉郡杷木町公民館の婦人学級に参加した。
谷口定子社会教育主事の指導のもとに活発な学習展開があり、意見交換をやりながら放送利用の意識を深めた。

。広島市の社会教育グループのリーダー5名が、わが社放研グループを訪問。

白銀公民館で、番組の作品研究を合同研修で行ない、情報交換、懇談会等有意義な交換学習が出来た。

5月には、北九社放研グループ会員の広島市の社会教育グループ訪問を企画。

。各研究大会への会員参加は、今年度も機会に恵まれ、会員にとって研修意欲を盛り上げ、放送利用の役割と普及促進の一端にもなったようだ。

昭和54年度「各研究集会参加状況」

- 54. 5.13 北九州市社会教育放送利用講座
～54.7.8 (北九州市) 助言。
- 54. 6.18 NHK放送利用小倉北区民のつどい(小倉北区白銀公民館) 助言。
- 54. 6.25 NHK放送利用八幡西区民のつどい(八幡西区市民センター) 助言
- 54. 8.27 県社放研定例研究会(福岡市)
- 54.10. 3 九州地区社会教育放送利用研究大会(沖縄)
～ 4
- 54.10.17 全国視聴覚教育研究大会(北九州市) 映画部門事例発表。
- 54.11.15 民教協全国大会(静岡市)
～ 16
- 54.11.27 くらしに生かす放送利用全国研究会(京都市) 事例発表。
～ 28
- 55. 1.28 県社放研中央定例研修会(福岡市)
- 55. 2.20 民教協九州大会(沖縄)
～ 21
- 55. 3. 3 RKB委嘱研究団体研修会(福岡市)

55.3.14 NHK放送利用若松区民のつどい

(若松区中央公民館)助言

55.3.28 NHKくらしに生かす放送利用「く

まもとのつどい」(熊本市)

事例発表とシンポジウム参加。

- (5) 県公連、RKB、県社放研から研究委嘱団体として委嘱を受け、会員相互の研修と放送利用学習の研究と普及に取り組んでいる。

- (6) 講師、助言者名簿作成

現在、情報交換で調査中。

- (7) 各公民館等所有のテープ目録作成

現在、原稿収集中。

氏 名	所 属
池 田 久 子	県 社 放 研 会 員
植 田 武 志	宮 田 北 小 学 校
古 賀 恵 里 子	福 岡 教 育 大 社 会 教 育 学 研 究 室
岡 田 敦 子	日 の 里 テ レ ビ 学 級
土 田 登 紀 子	"
後 藤 和 雄	枝 光 北 公 民 館 661-2437
竹 村 正 典	小 倉 南 中 央 公 民 館 941-4220

5. 研究グループのメンバー構成

北九州市社会教育放送利用研究グループ会員名簿

氏 名	所 属
三 隅 佳 子	小 倉 南 中 央 公 民 館 941-4220
大 月 良 子	若 松 中 央 公 民 館 751-8683
植 田 大 丈 夫	池 坊 佳 月 式 家 元 県 社 放 研 会 員
中 島 正 信	白 銀 公 民 館 921-2606
熊 本 賢 一	枝 光 公 民 館 661-1034
刀 根 大 人	黒 崎 公 民 館 641-4106
栗 原 健 一 郎	若 松 中 央 公 民 館 751-8683
相 賀 和 弘	R K B テ レ ビ
百 武 義 弘	N H K 北 九 州 放 送 局 561-4381
石 垣 正 孝	尾 倉 公 民 館 661-0516
大 畑 正 伸	穴 生 公 民 館 641-6026
出 畑 朝 子	消 費 生 活 セ ン タ ー 871-0428

6. 研究活動費

昭和54年度収支一覧表

〔収入の部〕

前年度繰越金	33,150 ^円	
会費	31,600	200円×158人(延人員)
特別会費	122,400	特別研修会積立金1,800円×68人(延人員)
R K B 委嘱費	50,000	
県公連委嘱費	30,000	
雑収入	19,000	寄付、祝儀
合計	286,150	

〔支出の部〕

研修事業費	124,530 ^円	杷木町、年末研修会費
研修旅費	10,890	杷木、福岡市、妙見会館 他
研修会議費	7,060	茶菓子代
特別研修積立金返金	39,600	
県社放研団体加入金	3,000	
補助教材費	13,500	テレビで学ぶ 900×15冊
資料作成費	5,490	ゴム印、写真代 他
通信費	4,400	切手代
交際費	8,800	交流会
雑費	3,000	お見舞
次年度繰越金	65,880	
合計	286,150	

7. 反省と今後の課題

社会教育における、生涯学習の中で視聴覚機器、教材の利用は、現代の情報化時代において、その役割と効果を考えるとき積極的に促進すべ

きではなからうか。

特に、放送の持つ情報は各分野にわたり、社会教育における住民の多種多様の学習要求に対応出来る最も効果を持つメディアであろう。放

送の持つ教育的特性と親近性は、他のメディア以上に住民の学習に密着出来るものである。「やさしく、楽しく、そして効果的な」くらしに生かした放送利用の普及・啓もうの促進浸透を社会教育の中で積極的に考慮すべきである。

放送利用の促進を考えると、行政による機会と場の提供と社会教育における視聴覚教育の果たす意義と役割を再認識し、社会教育施設へのVTRの整備は勿論、1か所に固定されたものだけでなく、普及効果を促進するために、携帯用の移動VTRを購入し「いつでも、どこでも、だれでも」放送利用学習が出来るよう態勢づくりを考慮すべきだろう。

発足以来、3年目に向う研究グループが来年度の課題として、

1. 放送利用学習の理論的見直し。(意義と役割の認識と確認)。
2. 学習事例研究(反省と相互研究)。
3. 番組作品研究(相互研究とフィードバック)。
4. 放送利用学習の普及・啓もう促進。
5. 自主放送教材制作。
6. その他。

など、北九州市の社会教育に放送利用学習の普及と学習効果を上げるための研究、フィードバックによる送り手側との情報交換を行ないよりよい作品づくり。

又、放送利用が他のメディアに比べ主体的学習に効果を上げている状況の中で、ややもすると、ただ、テレビを使用しているだけで、「承わり放送利用学習」になりかねない。放送利用が、受け身な形でなく、より効果的に活用して行く学習展開方法について今後一層の研究討議を行なっていきたい。

なお、学校教育に比べ、いちじるしく遅れている社会教育における自主教材制作について、来年度事業計画の中で検討していきたい。

研究グループ発足以来のことであるが、成果というより試行錯誤の繰り返しで、山積みした問題の反省と今後の課題ばかりではあるが、会員自身、多忙な中で自主的、自発的に取り組み、とにかく前向きに動いていることだけは評価出来るのではなからうか。

内容ある実績については、まだまだ程遠いことかも知れないが、とにかく会員同志楽しく、そしてきびしく、熱心に研究討議していることは、自画自賛ではあるが素晴らしいことだと思う。

放送利用学習に興味と関心のある方、一緒にがやがや話したい人は、ぜひ、ご参加をお願いしたい。

ここに、昭和54年度の北九社放研グループの活動の歩みをお届けいたしました。ぜひ、皆さまのご指導・ご助言をいただければ幸いです。

☆定例会 月1回 第2土曜日午後2時
～ 5時

☆定例会場 北九州市立白銀公民館

☆特別例会 一泊研修を含め年に2～3回

☆会費 月額 200円

☆連絡先 (事務局)

北九州市小倉北区白銀一丁目5番8号

北九州市立白銀公民館

TEL 093-921-2606

中島正信あて

— MEMO —

昭和 54 年度建設公民館

	公 立 公			
市 町 村 名	北 九 州 市	北 九 州 市	北 九 州 市	福 岡 市
施 設 名 称	小倉北中央公民館	篠 崎 公 民 館	八 児 公 民 館	大 名 公 民 館
所 在 地	北九州市小倉北区 大門1丁目6番43号	北九州市北区真鶴 1丁目5番15号	北九州市八幡西区大 字上上津役1882-3	福岡市中央区大名 2丁目6-53
構 造	鉄 筋 3 階	鉄筋 5階 (2階 部分)	鉄 筋 2 階	鉄 筋 4 階
建 物 延 面 積 (㎡)	2,052	648	709	552
総 工 費 (千円)	321,100	114,000	117,180	109,125
総 人 口 (人)	1,066,247	1,066,247	1,066,247	1,070,153
当該設置区域内人口 (人)	219,770	19,700	14,000	
主な施設設備内容	施 設 名 数	施 設 名 数	施 設 名 数	施 設 名 数
	会 議 室 2	講 堂 1	講 堂 1	図 書 室 1
	資 料 室 1	集 会 室 3	集 会 室 3	会 議 室 1
	料 理 研 究 室 1	和 室 2	和 室 2	和 室 2
	映 写 室 1	市 民 サ ロ ン 1	市 民 サ ロ ン 1	講 堂 1
	和 室 2	調 理 室 1	料 理 教 室 1	
	教 室 1			
	絵 画 室 1			

施設概要一覽

民 館				
福 岡 市	大 牟 田 市	行 橋 市	二 丈 町	大 和 町
福岡市立中央市民センター	勝立地区公民館	延永公民館	二丈町中央公民館	大和町中央公民館
福岡市中央区赤坂2丁目5-8	大牟田市新勝立町4丁目1の1番地	行橋市大字上津熊字宮ノ本76-1	糸島郡二丈町大字深江1145	山門郡大和町大字栄231番地
鉄筋 4階	鉄筋 2階	鉄筋 2階	鉄筋 3階	鉄筋 2階
3,820	918	577	1,866	2,161
836,607	129,231	59,908	230,000	360,000
1,070,153	166,277	61,503	11,335	20,016
	26,217	7,688	11,335	20,016
施設名 数	施設名 数	施設名 数	施設名 数	施設名 数
図書室 1	研修室 2	料理講習室 1	実習室 1	研修室 5
視聴覚室 1	和室 2	和室 2	印刷室 1	和室 3
実習室 1	視聴覚室 1	前室 1	和室 2	会議室 1
音楽室 1	図書室 1	小会議室 1	幼児室 1	調理室 1
会議室 3	料理室 1	ホール 1	会議室 3	資料室 1
和室 1	保育室 1	図書室 1	視聴覚室 1	図書室 1
ホール 1	ホール 1		図書室 1	放送室 1
ステージ 1			資料室 1	
			園芸陶芸室 1	

市 町 村 名	公 立 公 民 館		自	
	添 田 町	苅 田 町	大 牟 田 市	久 留 米 市
施 設 名 称	津 野 公 民 館	苅田町立中央公民館	伏 部 公 民 館	藤山(甲塚)公民館
所 在 地	田川郡添田町大字津野 6059	京都郡苅田町京町 2丁目5番地	大牟田市大字唐船 2058	久留米市藤山町 323-3
構 造	鉄 筋 1 階	鉄 筋 4 階	木 造 平 屋	木 造 平 屋
建 物 延 面 積 (m^2)	352	3,854	129	106
総 工 費 (千円)	47,500	655,730	9,950	4,590
総 人 口 (人)	16,584	31,643	166,352	201,771
当該設置区域内人口 (人)	1,094	22,170	413	224
主な施設設備内容	施 設 名 数	施 設 名 数	施 設 名 数	施 設 名 数
	集 会 室 1	研 修 室 6	放 送 室 1	大 広 間 1
	講 義 室 1	映 写 室 2	広 間 1	和 室 2
	調 理 実 習 室 1	資 料 室 1	ス テ ー ジ 1	調 理 室 1
	会 議 室 1	会 議 室 2	厨 房 室 1	
	図 書 室 1	母と幼児の 学習室 1		
	ホ ー ル 1	展 示・図書 コーナー 1		
	ス テ ー ジ 1	大 ホ ー ル 2		

治 (町 内) 公 民 館

直 方 市	直 方 市	田 川 市	田 川 市	田 川 市
藤田丸公民館	東和苑公民館	角銅原公民館	新町公民館	平松公民館
直方市大字上頓野 字藤田丸4541番地	直方市大字感田字 小塚2238番地	田川市大字弓削田 1100の3	田川市新町4番 11号	田川市千代町2003番
木造 平屋	木造 平屋	鉄骨 1階	鉄骨 1階	木造 2階
100	112	114	252	175
7,710	8,800	7,595	20,164	11,500
62,931	62,931	60,701	60,701	60,701
235	714	288	1,600	564
施設名 数	施設名 数	施設名 数	施設名 数	施設名 数
調理室 1	和 室 2	集会所 1	大広間 1	ステージ 1
ホ ー ル 1	ホ ー ル 1	和 室 1	ス テ ー ジ 1	集 会 所 1
集 会 所 2	大 広 間 1	ホ ー ル 1	小 会 議 室 1	和 室 1
ス テ ー ジ 1	厨 房 1		厨 房 1	
			和 室 1	

	自治			
市 町 村 名	柳 川 市	柳 川 市	八 女 市	行 橋 市
施 設 名 称	上八丁公民館	八ッ家公民館	下柳瀬公民館	行事本町公民館
所 在 地	柳川市大字有明町	柳川市大字八ッ家	八女市大字柳瀬 254 番地	行橋市大字行事 445-6
構 造	木 造 平 屋	木 造 2 階	木 造 平 家	木 造 2 階
建 物 延 面 積 (㎡)	112	146	145	104
総 工 費 (千円)	8,300	11,192	6,735	5,000
総 人 口 (人)	46,542	46,542	39,745	61,490
当該設置区域内人口 (人)	2,978	6,342	298	444
主な施設設備内容	施 設 名 数	施 設 名 数	施 設 名 数	施 設 名 数
	和 室 1	会 議 室 1	集 会 室 1	集 会 室 1
	会 議 室 1	ホ ー ル 1	会 議 室 1	食 堂・炊 事 場 1
	炊 事 場 1	和 室 1 炊 事 場 1	調 理 室 1	

(町 内) 公 民 館

行 橋 市	行 橋 市	豊 前 市	中 間 市	中 間 市
吉 国 公 民 館	つのかま苑公民館	東 吉 木 公 民 館	土手内二区公民館	宮 林 公 民 館
行橋市大字吉国149	行橋市大字延永	豊前市大字吉木 722-1	中間市大字下大隈 字新土手187番の4	中間市大字中間字 宮林728番の237
木 造 平 屋	木 造 平 屋	木 造 平 屋	木 造 平 屋	木 造 平 屋
140	102	115	189	115
13,560	5,718	6,518	12,706	7,717
61,490	61,490	32,620	49,012	49,012
195	320	201	1,268	657
施 設 名 数	施 設 名 数	施 設 名 数	施 設 名 数	施 設 名 数
大集会室 1	集 会 室 1	大 広 間 1	広 間 1	広 間 1
和 室 3	和 室 1	控 室 1	ス テ ー ジ 1	和 室 1
厨 房 1	炊 事 場 1	台 所 1	和 室 1	台 所 1
			控 室 1	ホ ー ル 1
			ホ ー ル 1	

	自 治			
市 町 村 名	小 郡 市	太 宰 府 町	太 宰 府 町	那 珂 川 町
施 設 名 称	今朝丸公民分館	湯の谷公民館	五条台公民館	後野公民館
所 在 地	小郡市福童	筑紫郡太宰府町大字太宰府 1022-3	筑紫郡太宰府町 2889-31	筑紫郡那珂川町大字後野字前田123-1
構 造	木造 平屋	木造 平屋	木造 平屋	鉄筋 2階
建 物 延 面 積 (㎡)	120	162	125	312
総 工 費 (千円)	9,092	12,940	9,600	29,750
総 人 口 (人)	41,060	47,489	47,489	23,408
当該設置区域内人口 (人)	100	826	567	800
主な施設設備内容	施設名 数	施設名 数	施設名 数	施設名 数
	集会室 1	集会場 1	集会場 1	会議室 2
	和室 1	和室 1	和室 1	調理実習室 1
	調理室 1	図書室 1 台所 1	台所 1	ステージ 1 厨房 1

(町 内) 公 民 館

須 恵 町	粕 屋 町	宗 像 町	宗 像 町	福 間 町
須恵町立集会施設 山の神健康会館	長者原公民館	田久公民館	横山公民館	冠公民館
粕屋郡須恵町大字 旅石 68 - 175	粕屋郡粕屋町大字 長者原 318	宗像郡宗像町大字 田久字立崎	宗像郡宗像町大字 山田	宗像郡福間町大字 手光 10 番地
鉄骨 1 階	鉄骨 2 階	木造 平屋	木造 平屋	木造 平屋
339	318	198	119	126
33,287	35,630	14,200	4,930	13,150
18,474	25,992	54,131	54,131	28,455
18,474	3,563	973	115	73
施設名 数	施設名 数	施設名 数	施設名 数	施設名 数
健康測定室 1	集会室 2	大ホール 1	会議室 1	ホール 1
ステージ 1	料理室 1	和室 2	和室 2	会議室 2
料理実習室 1	休養室 1	書庫 1	台所 1	調理室 1
研修室 1		調理室 1		
和室 1				

	自治			
市町村名	遠賀町	三輪町	前原町	田主丸町
施設名称	遠賀川公民館	栗田公民館	有田区公民館	森山公民館
所在地	遠賀郡遠賀町今古賀105-3	朝倉郡三輪町大字栗田	糸島郡前原町大字有田518番地の4	浮羽郡田主丸町森山
構造	木造 2階	木造 平屋	木造 平屋	木造 平屋
建物延面積 (㎡)	158	340	153	109
総工費 (千円)	13,970	25,900	13,409	8,250
総人口 (人)	13,460	10,097	39,685	22,642
当該設置区域内人口 (人)	998	855	460	178
主な施設設備内容	施設名 数	施設名 数	施設名 数	施設名 数
	ホール 1	ホール 1	会議室 2	集会室 2
	和室 1	和室 3	実習室 2	炊事場 1
	会議室 1	実習室 1		
	台所 1	大広間 1		

(町 内) 公 民 館

浮 羽 町	浮 羽 町	浮 羽 町	浮 羽 町	浮 羽 町
中 園 公 民 館	中 崎 公 民 館	古 川 町 公 民 館	中 鶴 公 民 館	朝 田 原 公 民 館
浮羽郡浮羽町大字 山北 1870-1	浮羽郡浮羽町大字 小塩 2404-1	浮羽郡浮羽町大字 古川 965-1	浮羽郡浮羽町大字 古川 219-1	浮羽郡浮羽町大字 朝田 794-3
木 造 平 屋	木 造 2 階	木 造 平 屋	木 造 平 屋	木 造 平 屋
131	168	296	103	211
9,876	10,300	20,555	5,498	13,000
19,323	19,323	19,323	19,323	19,323
129	205	517	144	342
施 設 名 数	施 設 名 数	施 設 名 数	施 設 名 数	施 設 名 数
大 広 間 1	大 広 間 1	会 議 室 1	会 議 室 2	会 議 室 3
和 室 1	調 理 室 1	ス テ ー ジ 1	控 室 1	調 理 室 1
台 所 1	ホ ー ル 2	和 室 2		
	和 室 2	調 理 室 2		

	自治（町内）公民館			
市町村名	北野町	黒木町	黒木町	香春町
施設名称	千代島公民分館	鱈八公民館	田本公民館	宮尾2区公民館
所在地	三井郡北野町大字 千代島 521-2	八女郡黒木町大字 笠原 5164-1	八女郡黒木町大字 田本 222の1	田川郡香春町大字 高野字苔島 1080-2
構造	木造 平屋	木造 平屋	木造 平屋	木造 平屋
建物延面積 (㎡)	156	107	110	109
総工費 (千円)	9,495	6,637	6,950	9,763
総人口 (人)	13,080	18,508	18,508	15,141
当該設置区域内人口 (人)	623	405	483	456
主な施設設備内容	施設名 数	施設名 数	施設名 数	施設名 数
	和室 2	会議室 2	会議室 1	大会議室 1
	集会室 1	調理室 1	和室 1	和室 1
	炊事場 1	ホール 2	調理室 1 ホール 1	台所 1

香 春 町	
中津原公民館	
田川郡香春町大字 中津原 1424	
木 造 平 屋	
117	
11,767	
15,141	
437	
施 設 名	数
放 送 室	1
集 会 室	1
和 室	1
台 所	1

県内公立公民館における AV

市 町 村 名									
	北九州市	福岡市	大牟田市	久留米市	直方市	飯塚市	田川市	柳川市	山田市
公民館数(提出分のみ)	62	63	2	1	1	7	1	7	1
16ミリ映写機	69	29	3	1	3		3	2	3
8ミリ映写機	4	9	4			1		1	
8ミリ撮影機	3	8	2					1	
スライド映写機	28	18	2	1	2		1		
O H P	55	1	2	1	3			1	
スクリーン(固)	20	6			4	1			
スクリーン(移)	62	35	5	1	3			1	2
ステレオ	8	8		1		1			1
ポータブル電蓄	29	25				5			
テープレコーダー(オープン)	26	14	4	1	1	3			
テープレコーダー(カセット)	42	35	1	1	1				
テレビ(カラー)	61	9	4	2		3		1	
テレビ(白黒)	10	7	4	1				3	
テレビカメラ(カラー)	2								
テレビカメラ(白黒)	3		1						
VTR(カセット)	8	1	4	2	2			1	
VTR(カートリッジ)	1								
VTR(オープン)	4								
VTR(白黒)	5		1						
カメラ	15	35	1					1	1
TP作成機			1				1		
ラジオ	5	17	2					3	
放送設備一式	35			1	1	2			1
スライド	20		341						
レコード	330							205	
T P	30								
8ミリフィルム	15		37						
16ミリフィルム	14		26		5			5	2
録音テープ	50		80						
VTRテープ	319		54	50	15			20	
視聴覚室 m ²	589			80	168	94			42
暗幕装置	55	22		1		5	1	1	1
暗室 m ²				6					
AV担当	(専任)								
	(兼任)	67	1	1	1			1	1

機器・教材の保有状況

(S. 55. 3 現在)

甘木市	八女市	筑後市	大川市	行橋市	豊前市	中間市	小郡市	筑紫野市	春日市	大野城市
11	1	1	7	9		1	1	5	1	1
4	3	2	7			4	3	1	1	4
	1		1			2		1		
	1		1			3				
2	2	1	3			3	1	1	1	2
	1	1	1			1	1	1	1	1
1		1	1			2		1		
3	3	3	2			2	1	2	1	1
	2					1		1	1	
	2					1	1	1	1	
1	1	1	2						1	
	2	2	2			3	1	1	1	1
3	1		2			3		5	1	
	1		2							
	1					1			1	
	1					1		1		
										1
	1								1	1
1	2	1	2						1	1
	1									
	1								1	
						1		3	1	
	10					3				
	100							15	40	9
	1					3				
	10							18	1	78
	10					5		44	1	4
	90		96.6			65	48	115.4	18	75
6	1		5	1		1	1	2	1	1
									6	6
						1				
11	1	1	5				1	1	1	2

市 町 村 名	筑 紫 郡		粕 屋 郡						
	太宰府町	那珂川町	宇美町	篠栗町	志免町	須恵町	新宮町	古賀町	久山町
公民館数(提出分のみ)	1	1	1	1	1	1		1	1
16ミリ映写機	2	3	2	2	4	3		3	1
8ミリ映写機		2	1	1	1	1			
8ミリ撮影機	1	2	1	1	1	1			
スライド映写機	1	1	1	1	1			1	
O H P	1	1		1	1	1		1	
スクリーン(固)		2		1	2	1			
スクリーン(移)	2	3	1	1	2	3		1	1
ステレオ		1		1	1				
ポータブル電蓄	4	2	2	1	1	2			
テープレコーダー(オープン)	2	2		1	1	1			
テープレコーダー(カセット)	3	1	1	2		1		1	
テレビ(カラー)	2	2	1	1	3				
テレビ(白黒)						1			
テレビカメラ(カラー)									
テレビカメラ(白黒)									
VTR(カセット)	1				1				
VTR(カートリッジ)									
VTR(オープン)		1							
VTR(白黒)						1			
カメラ	1	1	2	1		1		1	
TP作成機									
ラジオ		1							
放送設備一式	1	2	1	2	1	1			
スライド	2			15					
レコード		30	45	30	4				
T P	1	100							
8ミリフィルム		10	1						
16ミリフィルム	2	1	3						
録音テープ			5						
VTRテープ	13	10							
視聴覚室 m ²			465		220				
暗幕装置	1	1	1	1	1	1			
暗室 m ²			5.25	2					
AV担当	(専任)								
	(兼任)		2	1	1	1	3		1

粕屋町	宗 像 郡					遠 賀 郡				鞍手郡
	宗像町	福間町	津屋崎町	玄海町	大島村	芦屋町	水巻町	岡垣町	遠賀町	小竹町
1	3	1	1	1	1	1	1	3	1	1
2	2	2	1	1	1	1	2	2	1	2
1	1	2	1	1				1	1	
1		1	2	1						
1	1	2	1	1			1	1	1	1
2	1	1	1	1	1	1	1		1	1
1	1		1		1	1		2		1
2	1	2	2	1	1	1	3	1	1	1
1		1		1						1
1	1	1		1		1		3		1
1	1		1			1				
1	1	1	3	1	1	1	2	1	1	1
1	3	1			2	1		3		2
		1								1
		1								1
									1	
										1
1	1	2	1	3	1	1	1		1	1
1	1									
1	2		1	1			1	4	1	1
							2	1	30	
			20	50	70		60		15	
		1	6						2	
		2		4				1	1	
			20						55	30
									50	29
86									69.65	84
1	2		1		1	1	1	2	1	1
	6.58									
1	3	1	1	2	1	1	2		1	1

市 町 村 名	鞍 手 郡			嘉 穂 郡					
	鞍手町	宮田町	若宮町	桂川町	稲築町	碓井町	嘉穂町	筑穂町	穂波町
公民館数(提出分のみ)	1	1	1	1	1	1	1	1	1
16ミリ映写機	1	2	2	1	2	1		1	3
8ミリ映写機	1	1							3
8ミリ撮影機	1	1				1			
スライド映写機	1	2	1	1	2	1	1	1	4
O H P		2	1		1	1	1		1
スクリーン(固)		1	1						
スクリーン(移)		2		1	3	3	1	1	1
ステレオ				1		1	1		
ポータブル電蓄		1	1		1	1	1	1	
テープレコーダー(オープン)	1			1	1			1	●
テープレコーダー(カセット)		1	1	2	3	1	1	1	1
テレビ(カラー)		2	3	1	1		1	2	2
テレビ(白黒)					1	1			
テレビカメラ(カラー)								2	1
テレビカメラ(白黒)					1				
VTR(カセット)			1					3	1
VTR(カートリッジ)									
VTR(オープン)									
VTR(白黒)		1			1				
カメラ		1		1	1	1	1		1
TP作成機		1							1
ラジオ						1	1		
放送設備一式		1	2		2	1	1		
スライド			1		500	5	1	5	●
レコード		20	50	50	300	50		50	200
TP		1							
8ミリフィルム									
16ミリフィルム		1	3	4	8	2		4	7
録音テープ		5	10	20	35		1	10	
VTRテープ		6	20		27				5
視聴覚室 m ²		75	46.2	131	21.62		15		105.59
暗幕装置			1	1	1	1	1	1	1
暗室 m ²				5	1.52	4	3		
AV担当	(専任)		1						1
	(兼任)	1		1	1	1	2	1	1

		朝 倉 郡						糸 島 郡		
庄内町	穎田町	杷木町	朝倉町	三輪町	夜須町	小石原村	宝珠山村	前原町	二丈町	志摩町
	1	1	1	1	1	1	1	6	3	4
	3	1	2	3	1	1	1	6	3	5
			2	1	1		1			1
			2		1		1			1
	1		1	1	1		1	1	1	4
		2	1	1	2	1	1		1	4
	1				1			1	3	
	2	2	2	3	2	2	1	5		11
	1	1			1					1
	1		2		1				3	4
			1		1					3
	1	1	3	2	3		1		1	4
				1	2		1		3	4
			1							
				1						
							1	6	1	
		1	1	1	1					
	2		1	1	1			5		
										1
	1	1		2		1	1			5
	1		25	5	1					2
			70	30		20				23
			32	30	12					
	5		7	6	6	1				
				20						50
			23	30	20					
	64			6					140	100
	1	1	1	1	1			6	3	4
	10			100						
	2	1	1	1	1	1	1	4	1	2

市 町 村 名	浮 羽 郡			三 井 郡		三 瀧 郡			黒木町
	吉井町	田主丸町	浮羽町	北野町	太刀洗町	城島町	大木町	三瀧町	
公民館数(提出分のみ)	1	1	1	1	1	1	1	1	1
16ミリ映写機	3	3	2	2	2	2	2	3	5
8ミリ映写機		1		1	1		1	2	
8ミリ撮影機	1	1		1	1				
スライド映写機	1	1	2		1	1		3	
O H P	1	1	1		1		1	2	1
スクリーン(固)	1	1	2		1		2	2	2
スクリーン(移)	2	2	1	2	3	1	1	3	4
ステレオ		2		1		1		1	
ポータブル電蓄		1	1						
テープレコーダー(オープン)	2	1							
テープレコーダー(カセット)	1	1	1	1	2		1	1	1
テレビ(カラー)	1		1		1	1	2	3	1
テレビ(白黒)		1						1	
テレビカメラ(カラー)		1							
テレビカメラ(白黒)									
VTR(カセット)			1		1			1	
VTR(カートリッジ)									
VTR(オープン)		1							
VTR(白黒)		1					1	1	
カメラ	2	2	2	1	1	1	2	2	1
TP作成機					1				
ラジオ	1								1
放送設備一式	1	1	1		2			2	1
スライド			172		2				
レコード	100		200		7			30	
T P			1						
8ミリフィルム									50
16ミリフィルム								1	
録音テープ	3		50		20				40
VTRテープ			26		25			10	
視聴覚室 m ²		85			63			79	108
暗幕装置	1	1	1		1	1	1	1	1
暗室 m ²									
AV担当	(専任)								
	(兼任)	3	1	1	1	1	1	2	1

八 女 郡					山 門 郡				三池郡	田川郡
上陽町	立花町	広川町	矢部村	星野村	瀬高町	大和町	三橋町	山川町	高田町	香春町
1	4	1	1	1	1	1	1	1	1	1
1	1	1	1	1	2	1	2	1	2	1
		2	1	2	1		1			2
							1		1	
		1		1	3		1	1	2	2
	3				2		1	1	1	2
					1					
	1	2	1	2	3	1	1	2	2	
		1			1				1	1
1		1		1	2		1		1	1
			1		1		1			
1		3		1	1		2	1	2	1
	3	1			2			1	3	1
										1
1									1	
	1				1			1	1	2
1										
1									1	
1		1	1	1						1
					1					1
									1	1
				1	5			1	1	1
30			50		50				50	
					1					
		16								
20					20			4	40	
145					30			7	30	6
					57.7				65	63
1	3	1		1	1			1		
1										
3	4	2	1	2		1	1	1	1	1

市 町 村 名	田 川 郡								京
	添田町	金田町	糸田町	川崎町	赤池町	方城町	大任町	赤 村	刈田町
公民館数(提出分のみ)		1	1	1	1	1	1	1	1
16ミリ映写機		1	2	1	1	2	1	3	4
8ミリ映写機		1	1	1	1		1		1
8ミリ撮影機		1	1	4			1		1
スライド映写機			1	1	1		1	2	2
O H P			1		1		1		2
スクリーン(固)			1						5
スクリーン(移)		1	1	5	2		1	3	2
ステレオ				1	1	1			1
ポータブル電蓄			1		2			1	
テープレコーダー(オープン)				1					
テープレコーダー(カセット)		1	1	3	2			1	3
テレビ(カラー)		1	2	1	1	2	3		7
テレビ(白黒)									
テレビカメラ(カラー)			1				1		1
テレビカメラ(白黒)									
VTR(カセット)			1	1	1		1		3
VTR(カートリッジ)									
VTR(オープン)							1		
VTR(白黒)									
カメラ		2	3	1	1	1	1	1	1
TP作成機									1
ラジオ		1	1	2	1				
放送設備一式		1	1	1			1	1	2
スライド				8				7	7
レコード		10	100	50	52			37	24
T P									200
8ミリフィルム		6	10						3
16ミリフィルム			3	5			7	1	2
録音テープ		5	10	70				12	90
VTRテープ			10	30	10		3		152
視聴覚室 m ²			57			49	55.5		183
暗幕装置		1	1	1		1	1		
暗室 m ²									
AV担当	(専任)								
	(兼任)		1	1	1	1	1	1	

都 郡			築 上 郡				
犀川町	勝山町	豊津町	椎田町	吉富町	築城町	新吉富村	大平村
1	1	1	1	1	3	1	1
2	1	2	2	2	1	3	2
			1		1		1
	1		1				1
	1				1	1	2
				1		1	1
	1				1		2
	1	1	1	2	1	3	2
	1		1				1
	1		1			1	1
					1		
		1	1	1		1	1
	1	1	2	1	2	1	3
	1						
		1	1		1		1
				1	1		1
		1	1				1
	1		1		3	1	1
	30					4	
	50						
							20
	30						10
			5				5
	60			92.56		55	76.294
	1		1	1	1	1	1
		48					
			1				
	2	2		2	2	1	1

